

「バイオ成長戦略」中間提言(骨子)

～国際競争に勝つバイオ・イノベーションと成長戦略～

- ・ 日本は地球的規模の課題解決で世界をリードし尊敬されることを目指す国
- ・ バイオは課題解決に不可欠、新たな成長機会を生かす戦略が必要
- ・ 「イノベーション・科学技術創造立国」

(I) 国際競争に勝つ成長のための「新たな科学技術の総合戦略」

1. オープン・イノベーションを促進する「新たな科学技術の総合戦略」の策定

- 1) 「新たな科学技術の総合戦略」の策定と司令塔機能を持つ『科学技術戦略本部(仮称)』の設置
 - ・ バイオは国家の「基幹技術・基幹産業」
 - ・ 科学技術予算 政府 GDP 比 1%
- 2) 最先端研究をスピーディーに推進する社会システム・制度改革
- 3) 科学技術による国際貢献(アジア共同体との連携)

2. オープン・イノベーション実現のための基盤整備

- 1) バイオベンチャー・クラスターによる新産業創出のための支援制度の充実
- 2) 国際連携を見据えた生物資源戦略の推進
- 3) 知的財産権や育成権の確保と保護強化

(II) バイオの強みを生かした成長戦略(スピーディーな新産業創出)

1. 「生きる(ライフ)」

ライフ・イノベーションの創出加速に向けたインフラ整備による健康・医療産業の成長促進

- 1) 国家戦略としての全国的な健康・医療関連情報の電子化と統合データベースのグランドデザイン策定及びその構築
- 2) バイオベンチャーや技術移転機関(TLO)の活性化推進と臨床評価加速のためのバイオ医薬品製造等への支援
- 3) 世界をリードする先端技術実用化のための規制改革と産官学の協働体制
- 4) ライフ・イノベーションへの政府投資を効率的・総合的に実行する仕組み
- 5) ドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消のスピードアップ

2. 「くらす(グリーン・環境・資源)」

資源・炭素循環型社会実現のため、資源少国向きの技術開発と世界を牽引する革新的技術開発と新産業の創出

- 1) 資源少国として、バイオマス資源の確保と資源の徹底有効活用の技術開発と実用化、及び革新的な CO₂ 固定化技術開発の推進
- 2) 我が国に適したバイオ燃料の技術開発と実用化促進
- 3) バイオ化学工業社会へ移行する技術開発と製品普及の制度構築
- 4) 資源リサイクル、環境浄化技術開発と実用化促進のための制度改革
- 5) 省資源、省エネルギー技術の海外移転による CDM (Clean Development Mechanism) 制度の活用と地球温暖化問題への技術的貢献の展開

3. 「食べる(グリーン&ライフ)」

3. 1 最先端食料生産技術の早期実用化による国際貢献と食料自給率向上、地域活性化推進

- 1) 最先端作物育種技術等 (Made by Japanese Technology) の早期実用化、及び技術導出による国際貢献と食料確保・自給率の向上
- 2) ニーズ(需要) 対応の新品種開発と新種苗産業の創出、地域活性化

3. 2 健康食品の技術開発と成長促進

- 1) 健康維持・増進、QOL 向上のための健康食品産業の成長促進とグローバルな事業展開
- 2) 健康食品の規制や表示等の改革

(Ⅲ) バイオの成長を支える教育・人材開発とサイエンス・コミュニケーションの推進

1. 理科・科学、バイオ教育の充実とバイオ人材育成

- 1) 理科・科学教育、ヒトバイオロジー教育の充実
- 2) 市民の科学リテラシー(知識を理解し思考し、活用する能力) 向上
- 3) バイオに貢献する人材の開発と活躍の場づくりに産学官連携

2. 科学技術に関する双方向のサイエンス・コミュニケーションの推進

- 1) 国のリーダーシップによる科学技術の大切さを訴求する対話の場づくり
- 2) 社会のあらゆる場と機会で生命科学の大切さを発信
- 3) 「食の安全」に関するサイエンス・コミュニケーション